



神栖ディスカバリー



特集

キャリア教育ってなに？

生きる力を育てる授業





Pick up

- ごみの分別ガイドブックなどの全戸配布… P6
- 神栖市立幼稚園新入園児募集…………… P7
- 11月は児童虐待防止推進月間 …………… P8

社会の変化が激しい今、子どもたちが自立して生きるための力を育てるキャリア教育が注目されています。市内の取り組みを、2つの中学校を中心に紹介します。

AR 広報かみすが動き出す
 [COCOAR]アプリをダウンロードし表紙にスマートフォンをかざしてください。詳細は12ページ

[COCOAR]



特集

キャリア教育ってなに？

生きる力を育てる授業

世の中が目まぐるしく変化する今、生きる力の土台となるキャリア教育が全国的に注目されています。神栖市では平成30年度に「キャリア教育NEXT10」をスタートしました。今月は「いばらき教育月間」です。みなさんに教育に対する関心と理解を深めていただくため、今回は市内2つの中学校の取り組みを中心に紹介します。



打楽器のワークショップ(キャリア☆フェス神栖2023)

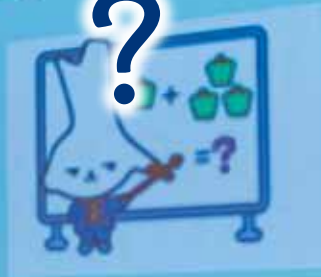


ディベート講座(波崎二中)



キャリア☆フェス神栖2023

今後キャリア教育でさらに学ばせたいこと



キャリア☆フェス神栖2023の一環として「中学生キャリアサミット」を開催。左から司会者(神栖一中学生徒)と神栖一中、神栖二中、神栖三中、神栖四中、波崎一中、波崎二中、波崎三中、波崎四中の代表生徒

「自立して生きる力」を養う

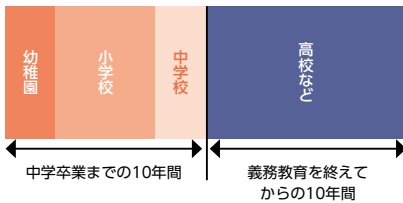
10年前には考えもしなかった最新テクノロジー、グローバル化、コロナ禍などによって、世の中は大きく変化しました。今の子どもたちが社会に巣立つ10年後には、いったいどうなっているのでしょうか？

このような変化の激しい現代社会で、子どもたちが自立して生きるために必要な力を養うのがキャリア教育です。神栖市の特徴は、幼稚園から中学卒業までの10年間、さらに義務教育を終えてからの10年間と、合計20年間にわたる長期的な視点で考えている点です。子どもたちが「何のために学ぶのか」「何をしたいのか」「どう生きたいのか」を意識し、将来の目標を持って学校生活を送る



キャリア☆フェス神栖では、神栖市ゆかりの企業や大学の協力を得たワークショップを楽しめる

神栖市のキャリア教育 [NEXT10]



ことができるよう取り組んでいます。今年8月には、かみす防災アリーナで「キャリア☆フェス神栖2023」が開催され、ワークショップや中学生キャリアサミットが実施されました。このサミットには市内中学8校の代表生徒が参加。各校のキャリア教育の取り組みを紹介し、さらなる発展に向けて話し合いました。キャリア教育に決まった形はなく、学校によって内容はさまざま。今回は、神栖第四中学校と波崎第二中学校を訪問し、先生と生徒たちの声を聞いてきました。

神栖第四中学校の取り組み

神栖第四中学校が取り組んでいるのは、「かかわる力」「対応する力」「やり遂げる力」「見通す力」を育む

ことです。生徒会でも活躍した3年生たちに話を聞くと、それらの「力」が何度も出てきました。

起業体験

三浦旺典さんと三谷海愷さんは、起業体験について話してくれました。これは、生徒が物販や催し物などを企画し、そこで得た利益を募金するものです。今年は、地域への感謝を込めて神栖市に寄付しようと生徒たちで決めました。

三浦さんは、起業体験でやり遂げる力を身につけたいと考えたそうです。「僕が社長役をやって感じたのは、みんなと話をすることが大切です。意見が出るのを待つのではなく、こちらから声をかけたり質問したりして話しやすい雰囲気をつくりました。また、いきなりゴールを目指そうとせず、身近な目標を一つひとつクリアしながら進むことで、みんなが同じ方向を向くことができました」

三谷さんが意識したのは、見通す力です。「僕の役割はもぐらたたき課の課長。一番大切にしたのは全員で楽しむことです。もぐらたたきの台を手作りするときに、みんなの考え方が違うとうまくいきません。そこでまず完成形を全員でイメージし、



キャリア教育担当の新河先生(神栖四中)



左から神倉さん、三谷さん、三浦さん(神栖四中)

さらに限られた時間で作り上げるための時間配分を考えました。見通す力を意識したことで自分自身が成長できたと思います」

神栖四中の先生からひとこと

新河恵里花先生(学年主任・キャリア教育担当)は、生徒たちの主体性を尊重しています。「一人ひとりが自分の役割を理解して取り組むことで、みんなでやり遂げたという達成感を得ることができません。また今回インタビューに答えた3人は、みんなの意見をまとめる経験をしています。自分の意見を押し通すのではなく、話すのが苦手な生徒の意見もしっかり拾い上げ、みんなと考えて思いを共有したところに生徒たちの成長を感じました」

生徒たちの言動を見た市民から「地域の将来に希望が持てました」という声をいただくことも多いとのこと。キャリア教育がしっかりと実を結びつつあるようです。

波崎第二中学校の取り組み

波崎第二中学校では特徴的な取り組みである「波二ゼミ」を中心に、意欲的にチャレンジを楽しむ2年生に話を聞きました。



アルコールインクアート講座



ギター講座



グリーンバックを使った動画編集講座

波二ゼミ

波二ゼミは夏休みに開催され、勉強だけでなくキャリア教育の視点から芸術や趣味の講座も開いています。松下紗楽さんは2つの講座を受講しました。「新しいことにチャレンジ

したいと思い、アルコールインクアート講座とギター講座を選びました。アルコールインクアートはインクがどう広がって混ざり合うか想像がつかず、とても新鮮な体験ができて楽しかったです。ギター講座は、理科の先生と卒業生に1から指導してもらいました。どちらの講座も、難しさを実感することで芸術や音楽をこれまでと違った視点で見られるようになり、より一層興味が湧きました」パソコンでゲームを自作するのが好きという村杉俊飛さんは、動画編

集講座を受講しました。「英語の先生が開いた講座で、グリーンバックを使った動画の作り方、効果音の入れ方、不要な部分をカットする方法などを教わりました。僕が作ったのは、自作のゲームを紹介する動画です。約45秒の動画を仕上げるのに4時間もかかって、普段テレビやパソコンで何気なく見ていた動画が苦労して作られていることを知りました」

波崎二中の先生からひとこと

木村美奈子先生(学年主任・キャリア教育担当)は、生徒たちの人間力に目を向けています。「中学生キャリアサミットに参加したこの2人は、いろいろな人とつながって人を豊かにしていく大切さに気づいたようです。自分たちの強みや足りないものを発見できたのは、生徒自



左から村杉さん、松下さん(波崎二中)



キャリア教育担当の木村先生(波崎二中)

身の人間力の表れであり、それを大切に育てていかなければならないと再認識しました」

また、地域の温かい協力について「学校を大切に思ってくださいる方が多く、本当にありがたいです」と感謝を述べていました。生徒たちは職場体験学習などを通して、地元の皆さんとふれあいながら地域愛を育んでいます。

中学生キャリアサミットで発信

各校の取り組みを発表する中学生キャリアサミットでも、生徒たちは多くを学んだようです。

神栖第四中学校の神舎倫乃^{かみやみ}さんは、中学生キャリアサミットの発表をするにあたり改めてキャリア教育を見つめ直しました。「学校生活の中で、



鹿島臨海工業地帯や地元企業など、多くの職場と連携できるのも神栖市の特色の一つ



中学生キャリアサミットで発表する神舎さん

いつ、どんなときにキャリア教育が生かされているかを探しました。いろいろな学校行事やグループワークで4つの力が使われていると実感し、プレゼンテーションソフトを使って資料にまとめて発表しました。私自身、



実行委員として体育祭をつくりあげるときに、**やり遂げる力を意識**しました。また、**かかわる力を生かして**全員で励まし合ってチャレンジすることができました」

波崎第二中学校の松下さんと村杉さんはキャリアサミットに参加し、他校の取り組みを聞いた中でたくさん気づきがあったといいます。発表者の村杉さんは学校の取り組みを紹介した後、「波二ゼミをもっと生

徒の主体性を生かしたものにしていきたい。他校との取り組みを増やしたい」と堂々と意見を述べました。松下さんは、神栖四中の笑顔を増やす取り組みを自分の通う波崎二中にも取り入れたいと思い、会場で手を挙げて発表者に積極的に質問したそうです。

自分を見つめるキャリア・パスポート

キャリア教育がスタートしてから、市内の児童・生徒たちは毎年「キャリア・パスポート」を整理しています。これは、新しい学年が始まった時に今の自分を見つめ、勉強・学校生活・行事などの目標、将来の夢、取り組み内容などを記入するものです。毎年新しいシートが加わり、小学校から高校まで自分の成長の記録がどんどん増えていきます。

生徒たちからは「明確な目標ができた」「自分を見つめ直すきっかけになる」などの感想が寄せられました。先生からのコメントも丁寧に記入され、生徒たちにとって大切な存在になっているようです。

子どもたちと地域の未来へ

子どもたちの未来につながるキャ

リア教育の取り組みが評価され、神栖市教育委員会は令和4年度に「キャリア教育に関する文部科学大臣表彰」を受賞しました。今後もさらなる充実に向けて、小中学校・高等学校間の情報交換や、キャリア☆フェス神栖など、幅広い取り組みを続けていきます。

キャリア教育は、児童生徒が学ぶことと自分の将来とのつながりを考えながら、自分らしく生きることができるようになることを目指しています。市内すべての小中学校のホームページに「キャリア教育推進プロジェクト」が掲載されていますので、「自分の母校ではどんなことをしているのかな?」「学校によってどう違うがあるのだろうか?」など、興味を湧いたらぜひのぞいてみてください。子どもたちの姿を通して、地域の未来が見えてくるかもしれません。

